令和８年度　第２回　石川県能登地域公共交通協議会

次　　第

日時：　令和 8 年 10 月 28 日(水) 13:30～
場所：　のとふれあい文化センター　２階　学習室

１　　開　　会

２　　会長挨拶

３　　報告事項

＜能登地域公共交通計画の取組状況について＞

（１）ワーキンググループの実施状況　　資料１

（２）「のるーとのと」実証運行　　資料２

（３）新たな交通モード導入に向けた研究会の実施状況　　資料３

（４）担い手確保に向けた取組　　資料４

４　　意見交換

５　　閉　　会

令和８年度　第２回　石川県能登地域公共交通協議会　出席者一覧

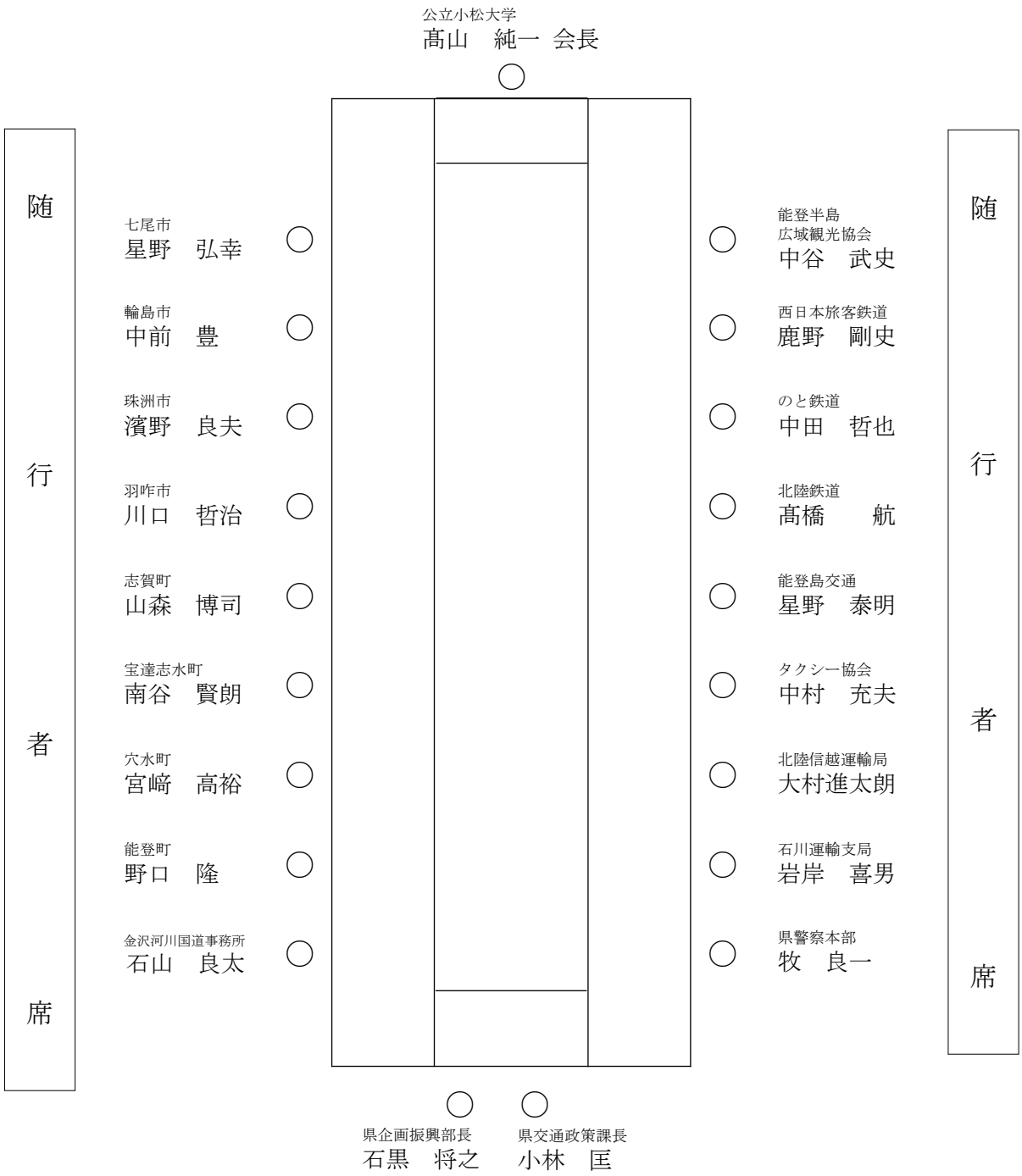
所属	氏　名	備考
公立小松大学 サスティナブルシステム科学研究科教授	髙山　純一	会長
石川県企画振興部長	石黒　将之	
七尾市副市長	星野　弘幸	
輪島市副市長	中前　豊	
珠洲市副市長	金田　直之	(代理) 企画財政課 課長 濱野 良夫
羽咋市副市長	川口　哲治	
志賀町副町長	山森　博司	
宝達志水町参事	金田　成人	(代理) 企画情報課 課長 南谷 賢朗
中能登町副町長	池田　正明	欠席
穴水町副町長	宮﨑　高裕	
能登町副町長	野口　隆	
北陸信越運輸局 交通政策部交通企画課長	大村　進太朗	
北陸信越運輸局石川運輸支局長	岩岸　喜男	
北陸地方整備局金沢河川国道事務所長	五十川　泰史	(代理) 計画課 課長 石山 良太

所属	氏　名	備考
北陸地方整備局能登復興事務所長	北出　一雅	欠席
石川県土木部道路整備課長	吉田　直司	欠席
石川県警察本部交通部首席参事官	吉村　修	(代理) 交通部 交通規制課 課長 牧 良一
西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社地域共生室長	鹿野　剛史	
のと鉄道株式会社代表取締役社長	中田　哲也	
北陸鉄道株式会社取締役自動車部長	髙橋　航	
能登島交通株式会社代表取締役社長	青山　邦一	(代理) 総務部長 星野 泰明
一般社団法人石川県タクシー協会専務理事	中村　充夫	
石川県交通運輸産業労働組合協議会	大脇　貴之	欠席
公益財団法人石川県老人クラブ連合会	山崎　一郎	欠席
石川県高等学校PTA連合会	新谷　智子	欠席
石川県高等学校PTA連合会	西谷　愛	欠席
一般社団法人能登半島広域観光協会	刀祢　秀一	(代理) 専務理事 中谷 武史
輪島商工会議所女性会	澤田　珠代	欠席

※敬称略、順不同

令和８年度 第２回 石川県能登地域公共交通協議会 座席図

日 時：令和8年10月28日(水)13：30～
会 場：のとふれあい文化センター　2階　学習室



※敬称略

事　務　局

記　者　席

能登地域公共交通計画の取組状況について

令和８年１０月２８日

令和８年度 第２回 石川県能登地域公共交通協議会

目　次

1．ワーキンググループの実施状況 | P01

2．「のるーとのと」実証運行 | P06

3．新たな交通モード導入に向けた研究会の実施状況 | P19

4．担い手確保に向けた取組 | P22

資料１

１．ワーキンググループの実施状況

1．ワーキンググループの実施状況（中能登ワーキンググループ）

開催概要

○ 計画策定後、実際に公共交通の維持・確保に取り組むために**今年度のテーマを設定**
○ 公共交通の利用促進策（今年度テーマ）について交通事業者等と意見交換を実施

テーマ設定に対する市町意見

・交通事業者には**既存路線は維持**してもらいたい
・幹線である**七尾線にどのように接続させるか**ということが課題

今後のスケジュール（案）

○ 年度内に２回程度開催予定

利用者増 → 運賃収入増 → 運行維持 サービス向上 → 利便性向上

好循環

利用者の増加が、運行維持・サービス向上につながり、さらに利用者を増やす好循環を形成



１．ワーキンググループの実施状況（奥能登ワーキンググループ）

概　要

○ 昨年度、国のパイロット・プロジェクトとして実施した
「共通ＡＩオンデマンド交通システム」「広域運営体制の検討」について継続協議

（１）共通ＡＩオンデマンド交通システム

実証運行の開始に向け、**準備状況や周知方法等について協議**を実施

全体確認	住民説明会･事業者説明会	広報･周知	アンケート
‣ 開始までの工程を整理 ‣ アプリ利用方法等の確認	‣ 開催時期の確認 ‣ 説明内容の確認	‣ ホームページの内容確認 ‣ 公開時期の確認	‣ 住民アンケート･利用者アンケートの内容、時期の整理

7月末　アプリリリース、ホームページ公開
8～9月　各市町･システムベンダーにおいて住民説明会･事業者説明会を実施

※その他、各種細かな調整も実施

（参考）ブース説明会



10月1日～　各市町において実証運行が開始

（参考）車両イメージ



1．ワーキンググループの実施状況（奥能登ワーキンググループ）

（2）広域運営体制づくりの検討

○ 昨年度に引き続き、**広域運営体制づくりについて継続した協議**を実施
1．市町・協議会・民間事業者が実施している業務の整理
2．奥能登ワーキンググループの場で各業務について、
「単独で継続すべき業務」「共通で運営した方がいいと考えられる業務」に整理

＜協議結果＞

- まずは連携しやすい業務から連携・集約
- 段階的に連携範囲を拡大

＜具体例＞

共通AIオンデマンド交通システム契約 ＋  **路線図・時刻表共同作成** ＋ **交通コンサル共同委託**

拡大

（参考）奥能登ワーキンググループ

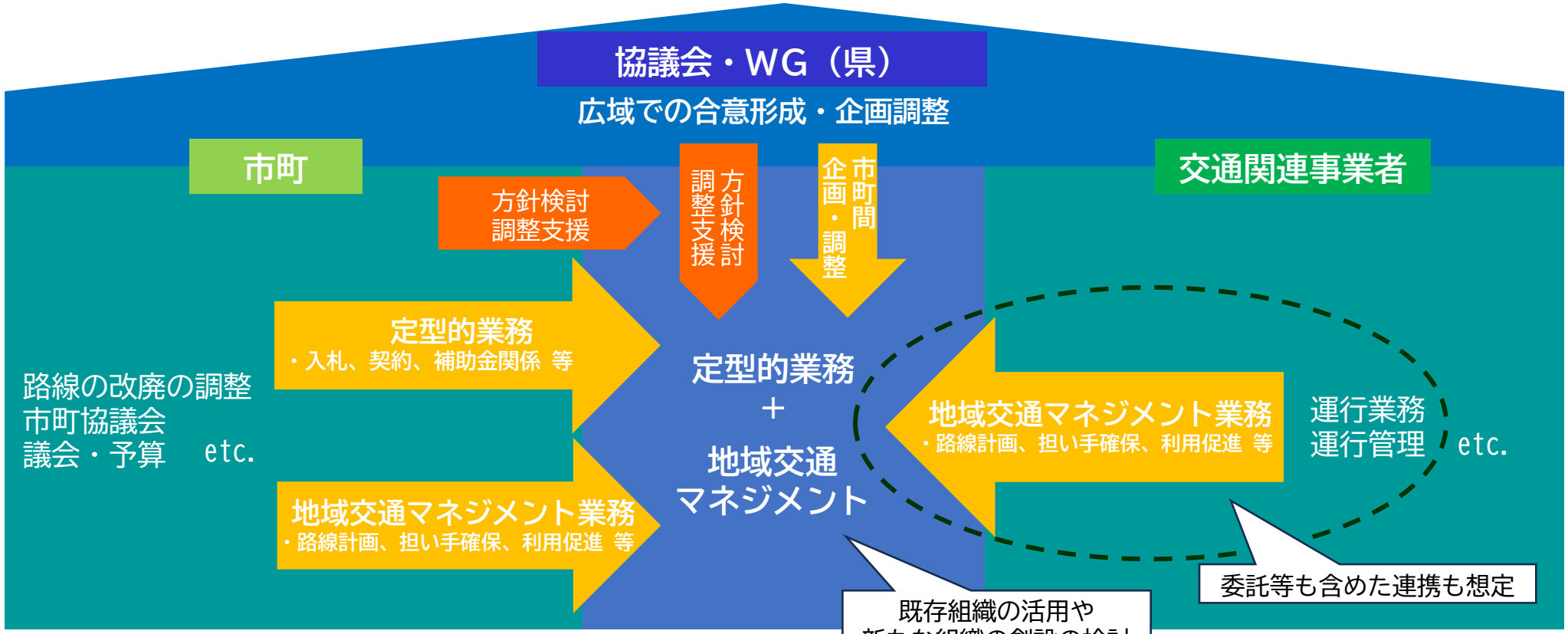


（参考）広域運営体制づくりの検討

令和7年度第3回協議会資料

○　地域全体における効率的・効果的な公共交通ネットワークの構築を図るべく、広域運営体制づくりを検討
- **◆協議会（事務局・県）において**、市町や交通事業者と**広域での合意形成・調整**
- **◆各市町・交通関連事業者の業務について、**定型的業務（契約・補助金業務等）や、交通マネジメント業務（路線計画、担い手確保、情報発信等）の**連携・集約による効率化や機能強化を検討**
- ⇒　**協議会ＷＧにおいて、具体的な検討を進めていく**

将来的な広域運営体制のイメージ



資料２

２．「のるーとのと」実証運行

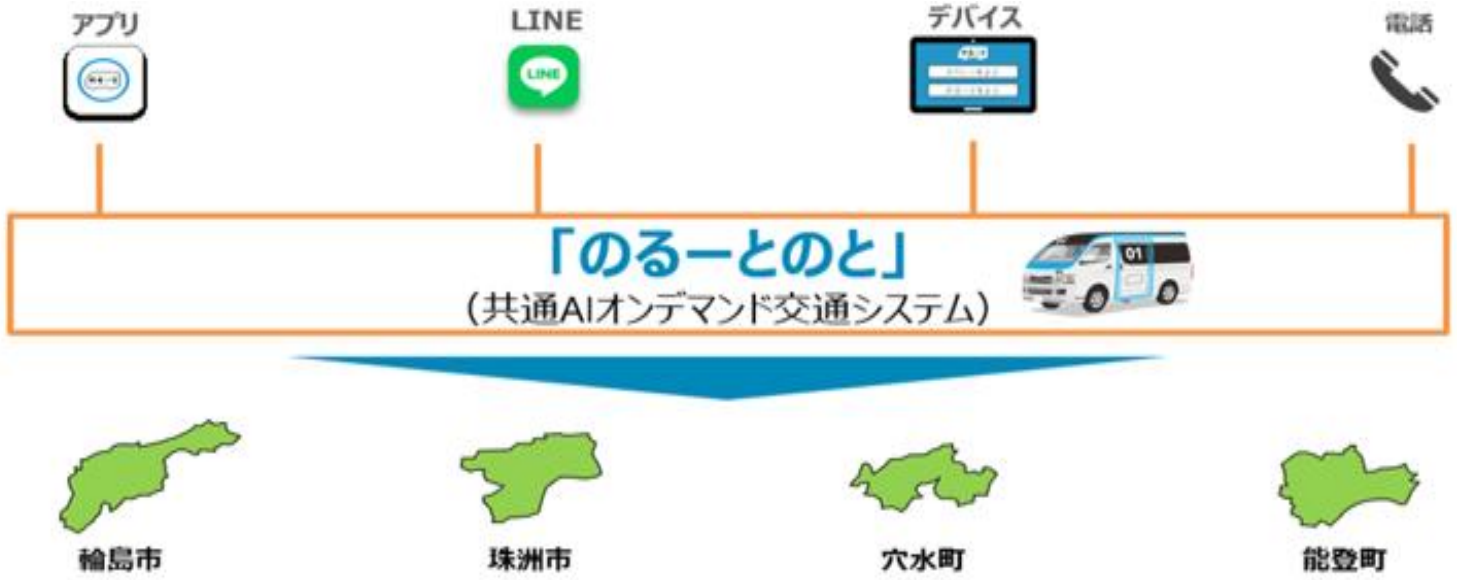
２．「のるーとのと」実証運行について

概　要

○ 昨年度、国のパイロット・プロジェクトで構築した、共通ＡＩオンデマンド交通システム**「のるーとのと」による実証運行が１０月１日より開始**

- 共通ＡＩオンデマンド交通システム「のるーとのと」が**予約状況に応じて効率的に配車・運行**
- アプリ・自治体公式LINE・タッチパネルデバイス・電話など**複数の媒体からＡＩオンデマンド交通の予約が可能**
- 国土交通省の「令和８年度『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト（共同化・協業化促進タイプ）」の事業採択も受け、**国による支援も活用して実証運行を実施**（交付上限額：22,721,490円）

（参考）導入イメージ



（参考）車両イメージ



2．「のるーとのと」実証運行について

説明会

○ ８月より各市町・システムベンダーが住民向け・事業者向けの説明会を実施

【住民向け説明会】
- ▶ 概要説明
- ▶ 予約方法の説明（コールセンター・LINE・アプリ） 等

【事業者向け説明会】
- ▶ 操作方法（管理者）の説明
- ▶ 操作方法（乗務員）の説明
- ▶ 実機研修 等

【事業者研修会】



【輪島市】



【珠洲市】



【穴水町】



【能登町】



2．「のるーとのと」実証運行について

＜利用実績（～R8.10.15（木））＞

	総数
利用者数	904人

	電話予約	アプリ・LINE
予約方法	725人（80.2%）	179人（19.8%）

＜住民の声＞

- ▶ バス停や便が増えたことが嬉しい
- ▶ 予約が手間
- ▶ 通院に間に合うよう運行時間を早めて欲しい
- ▶ 乗降場所を増やしてほしい
- ▶ アプリだけではなく、コールセンターもあるので安心した
- ▶ 病院の予約日・医師の診療曜日に合わせて運行してほしい

【輪島市】



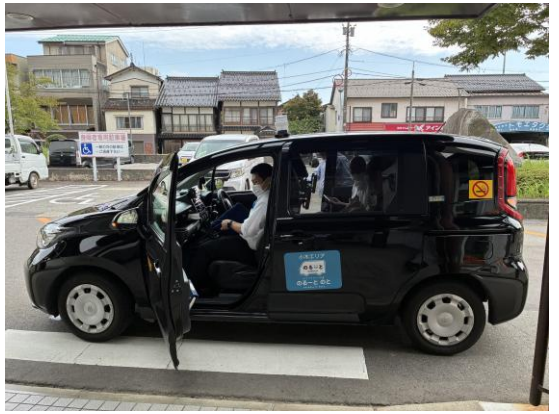
【珠洲市】



【穴水町】



【能登町】



２．「のるーとのと」実証運行について

運行概要（輪島市）

○ 市街地において運行していたＡＩオンデマンド交通「のらんけ＋」から「のるーとのと」に移行
○ 実証運行においては、運行形態を踏襲し、４市町共通のシステムへと移行

運行日･時間

月～金　８：００～１６：００
※土日祝・12/29～1/3は運休

予約方法

乗車１時間前まで(電話・アプリ・LINE)
※電話の受付は平日8:00～16:00

利用料金

１人１回２００円（高校生以下無料）

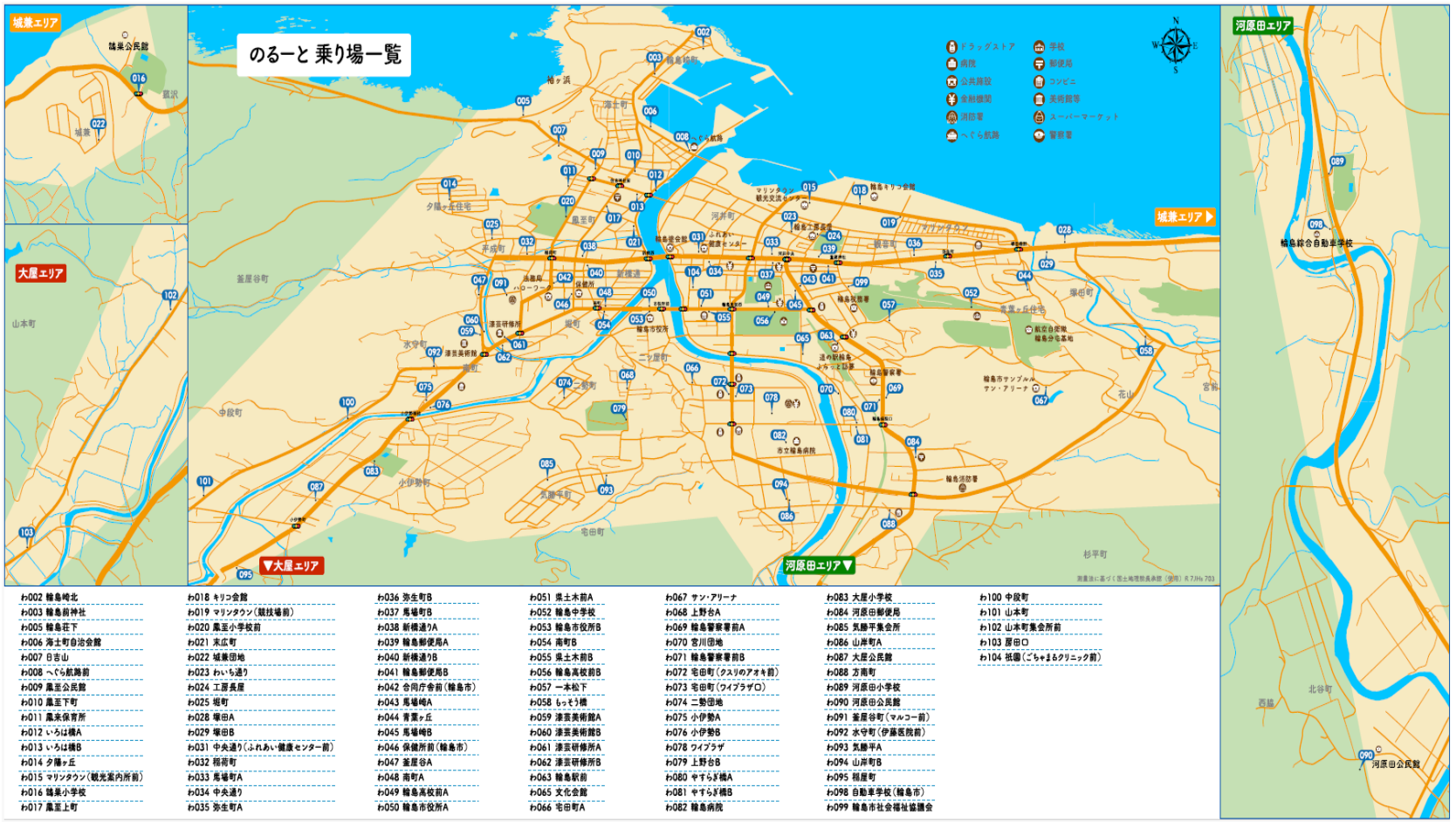
停留所

約９５箇所

運行台数･定員

台数：２台、定員：９名

(参考)運行エリア



2．「のるーとのと」実証運行について

運行概要（珠洲市）

○ 市街地は自由経路型デマンド（停留所⇔停留所）での運行
○ 宝立・上戸ルート、高屋・馬緤ルートは市街地の着発時間を固定するデマンドでの運行

運行日･時間

まちなか　：月～金　９：００～１４：００
宝立・上戸：火・木　（市街地　９：３０着 ／ 〃　１２：１５発）
高屋・馬緤：水・金
※土日・12/29～1/3は運休

予約方法

まちなか：乗車１時間前
その他　：乗車１日前
（電話・LINE・アプリ）
（電話の受付は平日9:00～17:00）

利用料金

無料

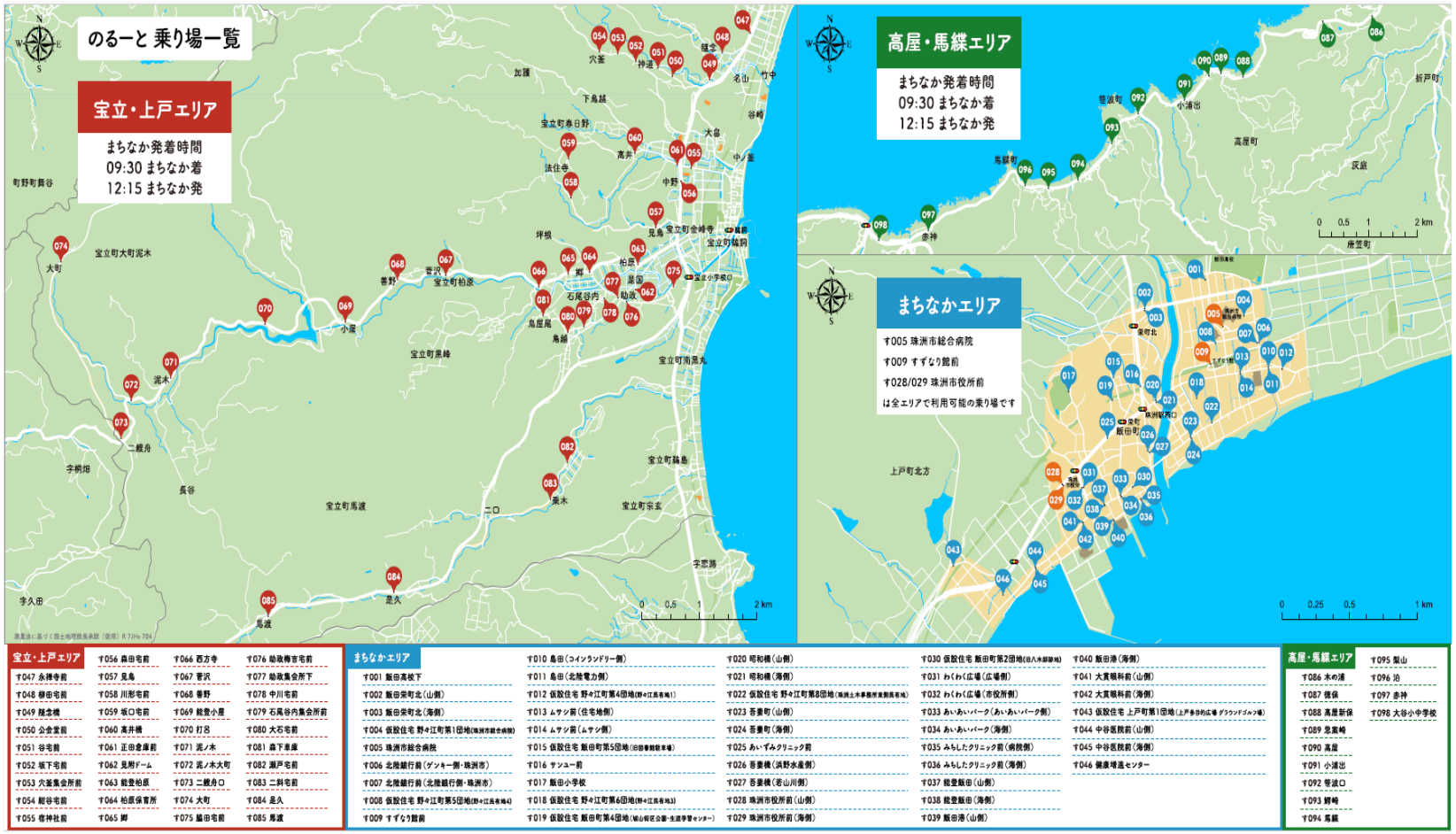
停留所

まちなか　：約４５箇所
宝立・上戸：約４０箇所
高屋・馬緤：約１５箇所

運行台数･定員

台数：まちなか１台・その他エリア１台、定員：９名

（参考）運行エリア



２．「のるーとのと」実証運行について

運行概要（穴水町）

○ 市街地は自由経路型デマンド（停留所⇔停留所）での運行
○ 郊外を４エリアに分け、市街地と各エリアを結ぶ自由経路型デマンドでの運行

運行日･時間

市街地　　：月～金　７：００～１７：００
諸橋・上中：月・水　９：００～１６：００
甲・住吉　：火・金　９：００～１６：００
※木(市街地除く）、土日祝・12/29～1/3は運休

予約方法

乗車直前まで（電話・LINE・アプリ）
※電話の受付は平日9:00～17:00

利用料金

無料（令和９年３月３１日まで）

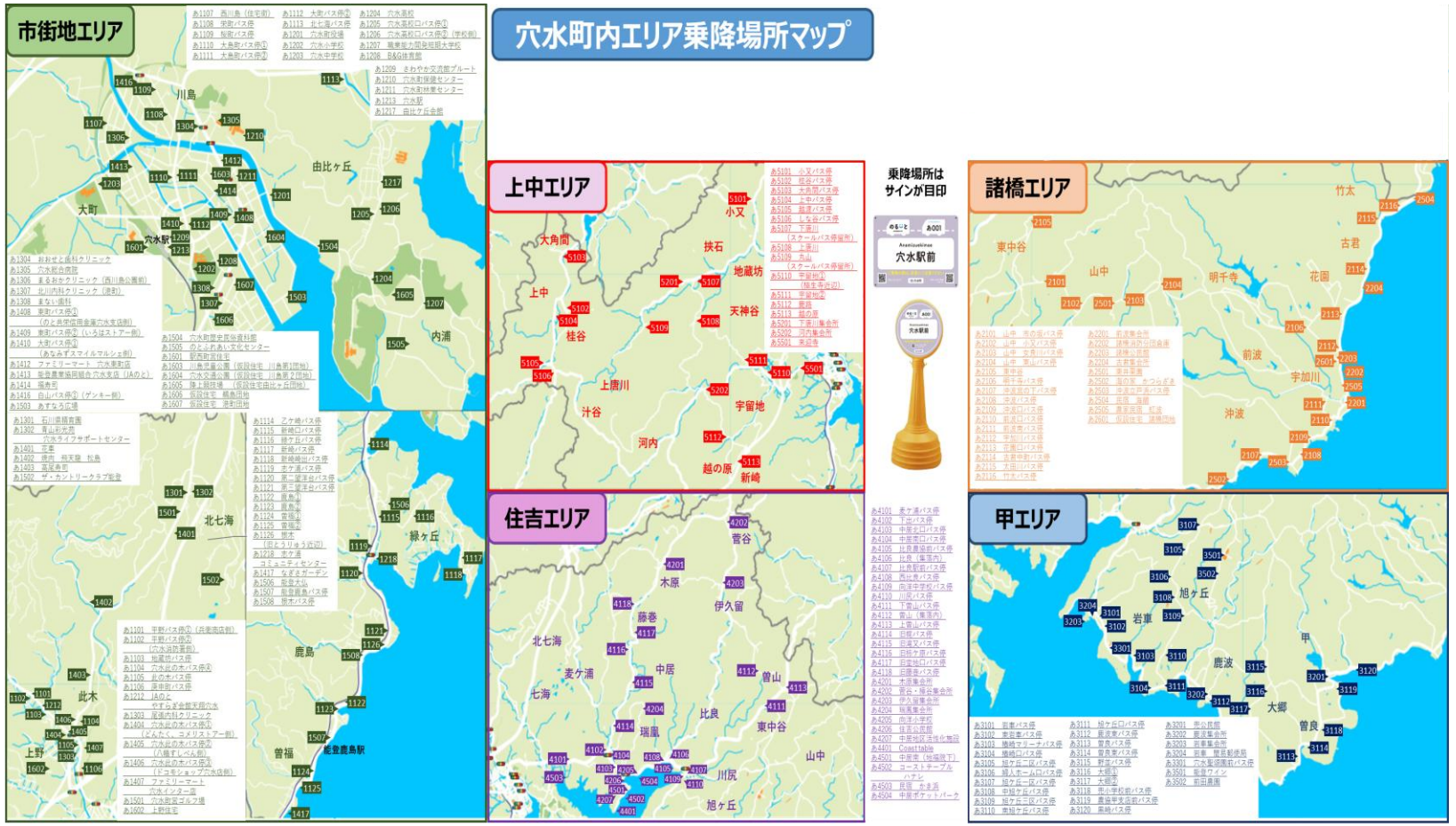
停留所

市街地：７８箇所　　甲　：２８箇所
諸橋　：２６箇所　　住吉：３１箇所
上中　：１６箇所

運行台数･定員

台数：市街地１台・その他エリア２台、定員：８名

（参考）運行エリア



２．「のるーとのと」実証運行について

運行概要（能登町）

○ 郊外を５エリアに分け、市街地と各エリアを結ぶ自由経路型デマンド（市街地の着発時間を固定）での運行
○ 宇出津市街地において自由経路型デマンド（停留所⇔停留所）での運行

運行日･時間･予約方法

月～金　７：３０～１６：３０ ※土日・12/29～1/3は運休
予約方法　電話・LINE・アプリ
（電話の受付は平日9:00～17:00）

おでかけ便（自宅から宇出津乗降場所へ）　予約受付は6日前から前日の17:00まで

便名	柳田エリア	中央エリア	鵜川エリア	小木エリア	松波エリア	宇出津エリア
1便	宇出津到着　8:30頃着（宇出津のポイントどこでも降りられます）					
2便	宇出津到着　10:00頃着（宇出津のポイントどこでも降りられます）					

おかえり便（宇出津乗降場所から自宅へ）　予約受付は6日前から出発の1時間前まで

便名	柳田エリア	中央エリア	鵜川エリア	小木エリア	松波エリア	宇出津エリア
1便	11:30頃発	11:45頃発	11:45頃発	12:00頃発	12:00頃発	12:00頃発
2便	13:15頃発	13:45頃発	13:30頃発	13:30頃発	13:00頃発	13:30頃発
3便	14:45頃発	15:00頃発	15:00頃発	14:30頃発	14:30頃発	14:30頃発

利用料金

中学生以上７００円（小学生以下無料）

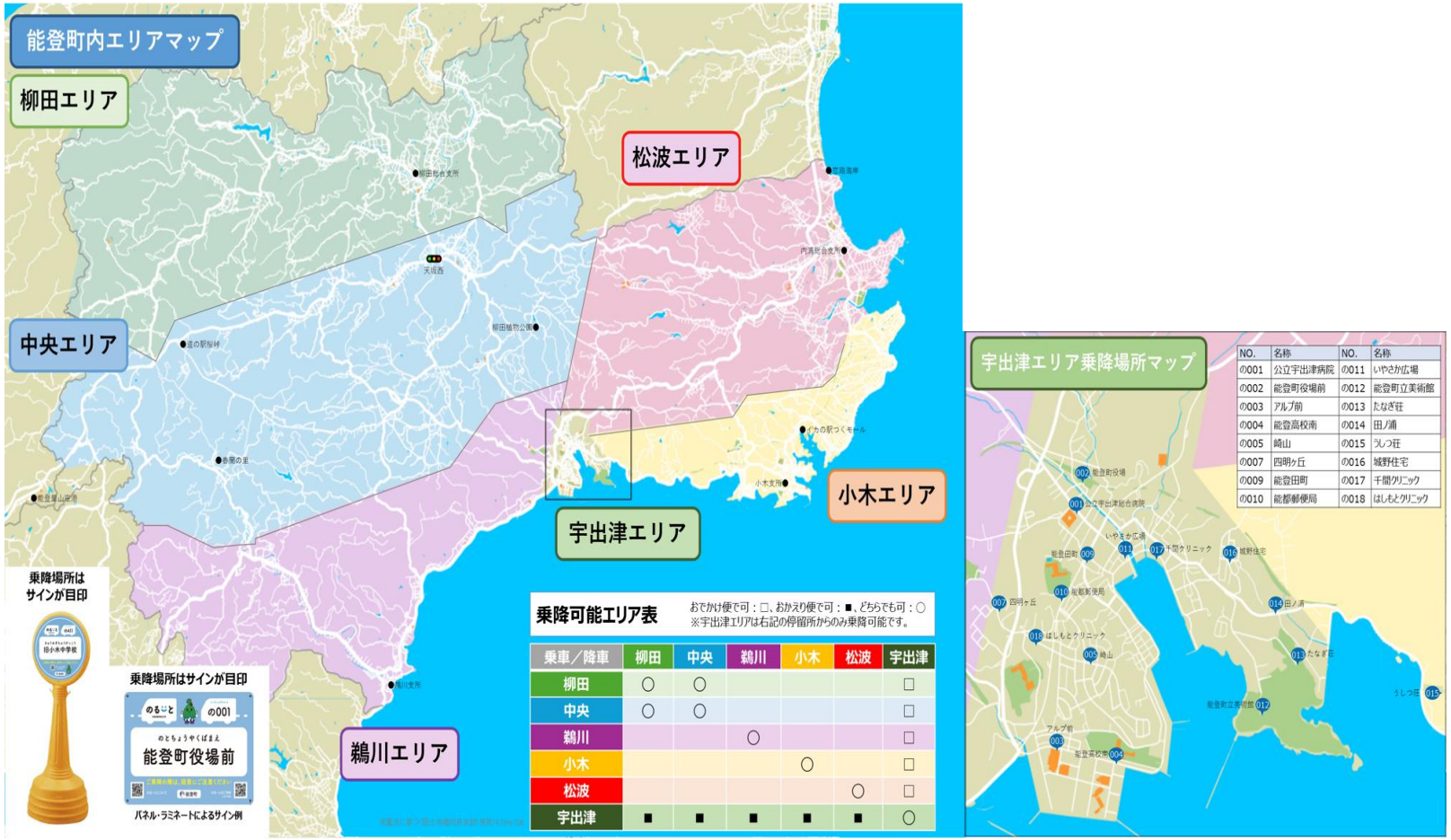
停留所

市街地　：約１５箇所（郊外はどこでも乗降可能）

運行台数･定員

台数：６台、定員：４～６名

（参考）運行エリア



２．「のるーとのと」実証運行について

今後の取組

○ 利用者・住民アンケートを実施し、移動ニーズの把握やサービス改善に繋げる

＜調査の目的＞

▶ 奥能登４市町（輪島市・珠洲市・穴水町・能登町）における共通ＡＩオンデマンド交通の実証運行を対象とし、ＡＩシステム導入による効果を定量的・定性的に検証

▶ 利用者の満足度・交通行動変容・移動ニーズを把握し、本格導入・広域展開に向けて活用

利用者･住民アンケート調査

- 車内配布＋広報誌挟み込み
- 調査時期：R8.12頃
- 対象：AIオンデマンド利用者＋住民

＋

利用実績データ分析

- AIシステムログデータを取得
- 分析ツールによる可視化･集計
- 利用動態･需要分布･配車効率　等
- 利用者属性、時系列推移、移動ニーズ分析

→

効果検証の総合分析

- 利用者側･運営側の効果整理
- 定量評価＋定性評価の統合
- 広域展開に向けた示唆･課題整理

実施スケジュール（予定）

○ R8.12月頃　：アンケート実施

○ R9.1～２月：分析・結果整理

２．「のるーとのと」実証運行について

利用者アンケート

調査時期	令和８年１２月頃（実証運行中期）
調査対象	ＡＩオンデマンド利用者（乗車中の利用者）
調査方法	ＡＩオンデマンド車内での調査票を配布し、二次元コードまたは郵送返送により回答 アプリ利用者に対するアンケート（満足度＋ご意見（自由意見））

調査設問

【利用者属性】
- ▶ 居住市町・性別・年齢・世帯・移動手段の保有状況

【利用実態】
- ▶ 乗降地点・訪問先・訪問頻度・利用頻度・利用目的・時間帯

【予約手段】
- ▶ アプリ利用 or 電話(コールセンター)

【「のるーとのと」の認知】
- ▶「のるーとのと」をどこで知ったか

【満足度】
- ▶ 配車待ち時間・予約の際の操作性　など

【交通行動変容】
- ▶ 従前の主な移動手段(徒歩・車・タクシー等)
- ▶ 本サービス利用前後の外出頻度の変化
- ▶ 本サービスが外出支援につながっているか

【広域展開への意向】
- ▶ 市町をまたぐ移動ニーズの有無
- ▶ 広域サービス拡大への期待・要望

【自由意見】
- ▶ サービス改善・継続への要望・気づき　など

２．「のるーとのと」実証運行について

住民アンケート

調査時期	令和８年１２月頃（実証運行中期）
調査対象	奥能登４市町居住者
調査方法	調査票を広報誌に同封し、二次元コードまたは郵送返送により回答 ※アンケートには「のるーとのと」の概要も紹介し、利用促進も兼ねて実施

調査設問（案）

【回答者属性】
- ▶ 居住市町・性別・年齢・世帯・移動手段の保有状況

【日常の外出状況・移動手段・行き先】
- ▶ 外出頻度・外出目的・普段よく使う移動手段・訪問先・訪問頻度・移動に困ってること・不便に感じること

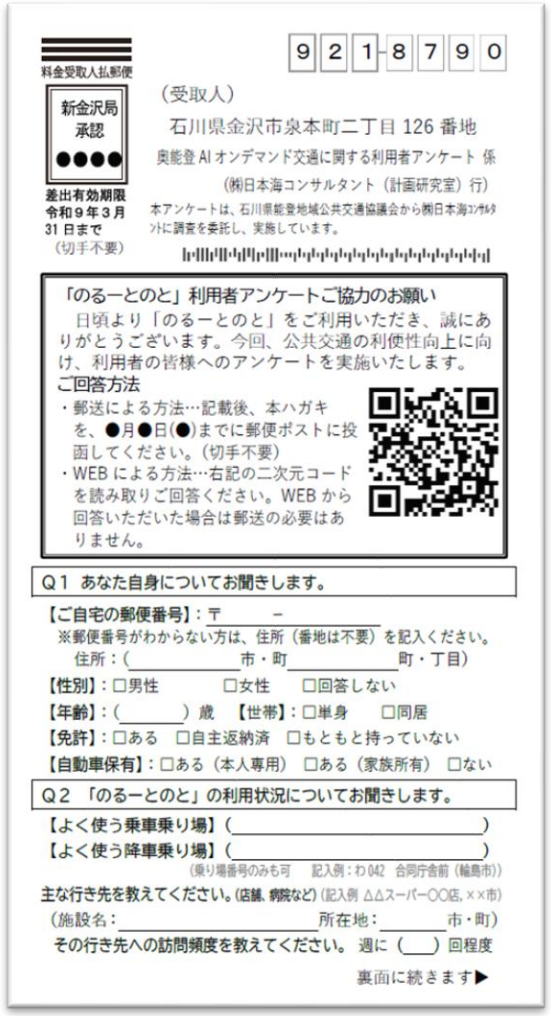
【「のるーとのと」の認知】
- ▶「のるーとのと」を知っているか
- ▶「のるーとのと」をどこで知ったか
- ▶ 利用したことがあるか

【今後の意向】
- ▶ 今後このサービスを利用してみたいか
- ▶ 利用したくない理由

【自由意見】
- ▶ 公共交通への期待・要望　など

2．「のるーとのと」実証運行について

（参考）利用者アンケート調査票



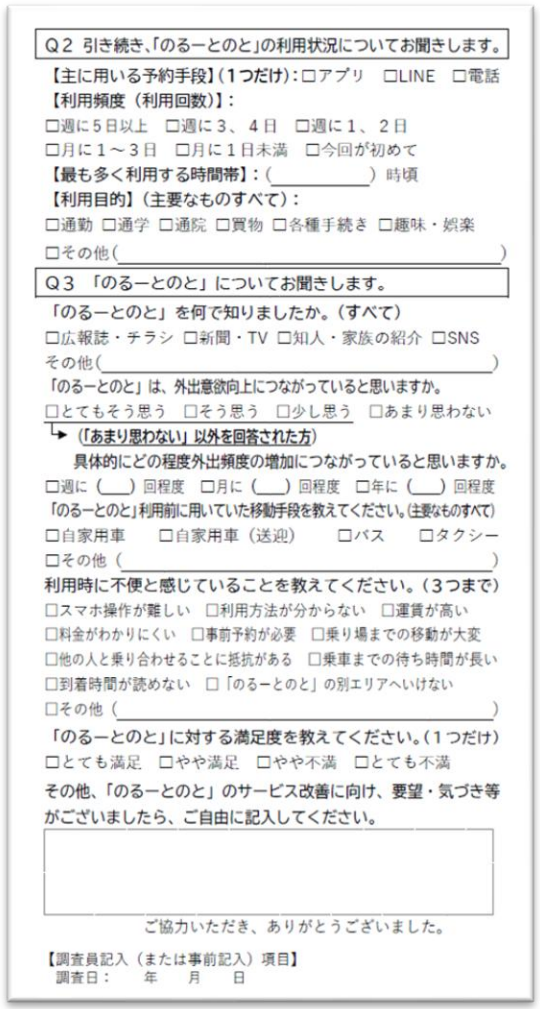
料金受取人払郵便
新金沢局承認
差出有効期限 令和９年３月31日まで（切手不要）
9 2 1 - 8 7 9 0
（受取人）
石川県金沢市泉本町二丁目126番地
奥能登AIオンデマンド交通に関する利用者アンケート 係
（㈱日本海コンサルタント（計画研究室）行）
本アンケートは、石川県能登地域公共交通協議会から㈱日本海コンサルタントに調査を委託し、実施しています。

「のるーとのと」利用者アンケートご協力のお願い
日頃より「のるーとのと」をご利用いただき、誠にありがとうございます。今回、公共交通の利便性向上に向け、利用者の皆様へのアンケートを実施いたします。
ご回答方法
・郵送による方法…記載後、本ハガキを、●月●日(●)までに郵便ポストに投函してください。（切手不要）
・WEBによる方法…右記の二次元コードを読み取りご回答ください。WEBから回答いただいた場合は郵送の必要はありません。

Q1 あなた自身についてお聞きします。
【ご自宅の郵便番号】：〒　－
※郵便番号がわからない方は、住所（番地は不要）を記入ください。
住所：（　　市・町　　町・丁目）
【性別】：□男性　□女性　□回答しない
【年齢】：（　　）歳　【世帯】：□単身　□同居
【免許】：□ある　□自主返納済　□もともと持っていない
【自動車保有】：□ある（本人専用）　□ある（家族所有）　□ない

Q2 「のるーとのと」の利用状況についてお聞きします。
【よく使う乗車乗り場】（　　）
【よく使う降車乗り場】（　　）
（乗り場番号のみも可　記入例：わ042　合同庁舎前（輪島市））
主な行き先を教えてください。（店舗、病院など）（記入例 △△スーパー○○店、××市）
（施設名：　　所在地：　　市・町）
その行き先への訪問頻度を教えてください。 週に（　　）回程度

裏面に続きます▶



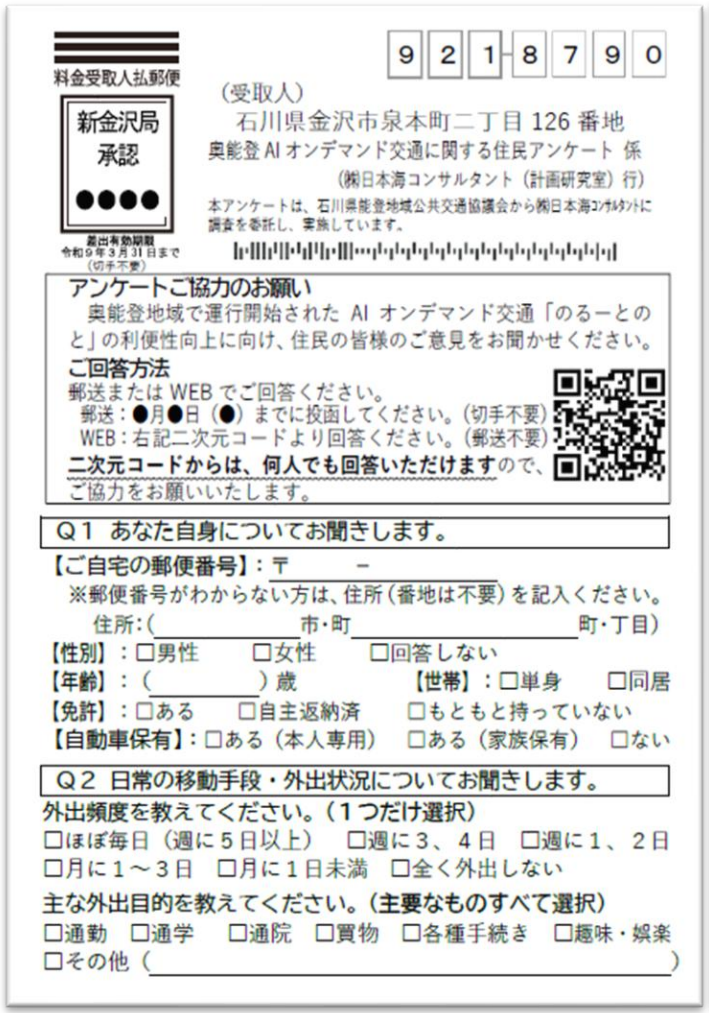
Q2 引き続き、「のるーとのと」の利用状況についてお聞きします。
【主に用いる予約手段】（1つだけ）：□アプリ　□LINE　□電話
【利用頻度（利用回数）】：
□週に5日以上　□週に3、4日　□週に1、2日
□月に1～3日　□月に1日未満　□今回が初めて
【最も多く利用する時間帯】：（　　）時頃
【利用目的】（主要なものすべて）：
□通勤　□通学　□通院　□買物　□各種手続き　□趣味・娯楽
□その他（　　）

Q3 「のるーとのと」についてお聞きします。
「のるーとのと」を何で知りましたか。（すべて）
□広報誌・チラシ　□新聞・TV　□知人・家族の紹介　□SNS
その他（　　）
「のるーとのと」は、外出意欲向上につながっていると思いますか。
□とてもそう思う　□そう思う　□少し思う　□あまり思わない
↳（「あまり思わない」以外を回答された方）
具体的にどの程度外出頻度の増加につながっていると思いますか。
□週に（　　）回程度　□月に（　　）回程度　□年に（　　）回程度
「のるーとのと」利用前に用いていた移動手段を教えてください。（主要なものすべて）
□自家用車　□自家用車（送迎）　□バス　□タクシー
□その他（　　）
利用時に不便と感じていることを教えてください。（3つまで）
□スマホ操作が難しい　□利用方法が分からない　□運賃が高い
□料金がわかりにくい　□事前予約が必要　□乗り場までの移動が大変
□他の人と乗り合わせることに抵抗がある　□乗車までの待ち時間が長い
□到着時間が読めない　□「のるーとのと」の別エリアへいけない
□その他（　　）
「のるーとのと」に対する満足度を教えてください。（1つだけ）
□とても満足　□やや満足　□やや不満　□とても不満
その他、「のるーとのと」のサービス改善に向け、要望・気づき等がございましたら、ご自由に記入してください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

【調査員記入（または事前記入）項目】
調査日：　年　月　日

（参考）住民アンケート調査票

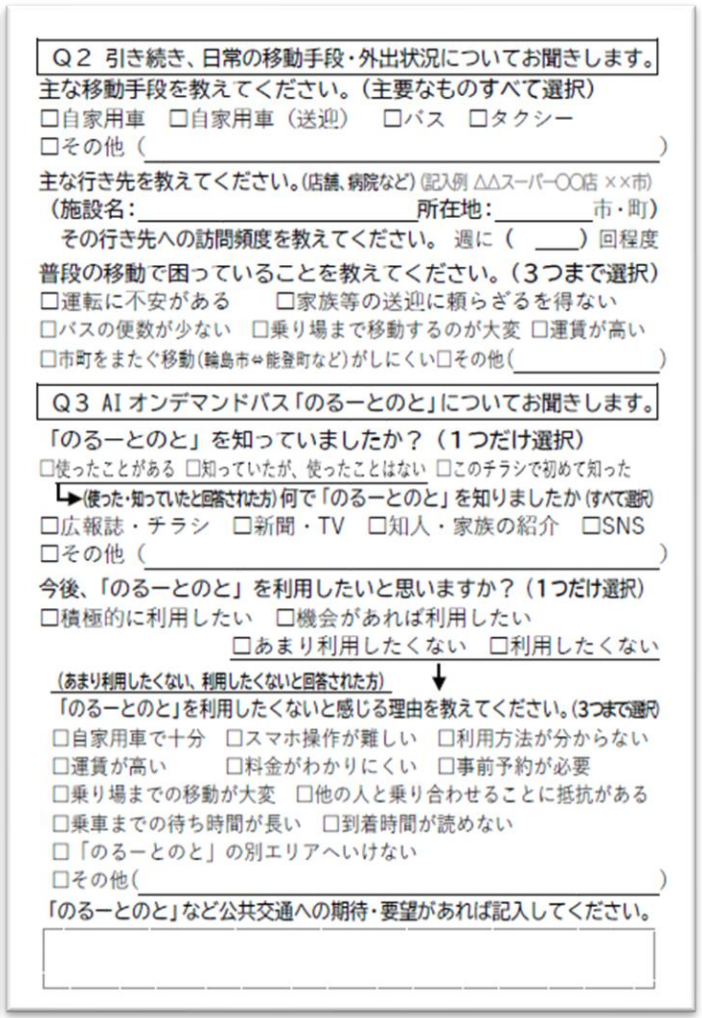


料金受取人払郵便
新金沢局承認
差出有効期限 令和９年３月31日まで（切手不要）
9 2 1 - 8 7 9 0
（受取人）
石川県金沢市泉本町二丁目126番地
奥能登AIオンデマンド交通に関する住民アンケート 係
（㈱日本海コンサルタント（計画研究室）行）
本アンケートは、石川県能登地域公共交通協議会から㈱日本海コンサルタントに調査を委託し、実施しています。

アンケートご協力のお願い
奥能登地域で運行開始されたAIオンデマンド交通「のるーとのと」の利便性向上に向け、住民の皆様のご意見をお聞かせください。
ご回答方法
郵送またはWEBでご回答ください。
郵送：●月●日（●）までに投函してください。（切手不要）
WEB：右記二次元コードより回答ください。（郵送不要）
二次元コードからは、何人でも回答いただけますので、ご協力をお願いいたします。

Q1 あなた自身についてお聞きします。
【ご自宅の郵便番号】：〒　－
※郵便番号がわからない方は、住所（番地は不要）を記入ください。
住所：（　　市・町　　町・丁目）
【性別】：□男性　□女性　□回答しない
【年齢】：（　　）歳　【世帯】：□単身　□同居
【免許】：□ある　□自主返納済　□もともと持っていない
【自動車保有】：□ある（本人専用）　□ある（家族保有）　□ない

Q2 日常の移動手段・外出状況についてお聞きします。
外出頻度を教えてください。（1つだけ選択）
□ほぼ毎日（週に5日以上）　□週に3、4日　□週に1、2日
□月に1～3日　□月に1日未満　□全く外出しない
主な外出目的を教えてください。（主要なものすべて選択）
□通勤　□通学　□通院　□買物　□各種手続き　□趣味・娯楽
□その他（　　）



Q2 引き続き、日常の移動手段・外出状況についてお聞きします。
主な移動手段を教えてください。（主要なものすべて選択）
□自家用車　□自家用車（送迎）　□バス　□タクシー
□その他（　　）
主な行き先を教えてください。（店舗、病院など）（記入例 △△スーパー○○店 ××市）
（施設名：　　所在地：　　市・町）
その行き先への訪問頻度を教えてください。 週に（　　）回程度
普段の移動で困っていることを教えてください。（3つまで選択）
□運転に不安がある　□家族等の送迎に頼らざるを得ない
□バスの便数が少ない　□乗り場まで移動するのが大変　□運賃が高い
□市町をまたぐ移動（輪島市⇔能登町など）がしにくい　□その他（　　）

Q3 AIオンデマンドバス「のるーとのと」についてお聞きします。
「のるーとのと」を知っていましたか？（1つだけ選択）
□使ったことがある　□知っていたが、使ったことはない　□このチラシで初めて知った
↳（使った・知っていたと回答された方）何で「のるーとのと」を知りましたか（すべて選択）
□広報誌・チラシ　□新聞・TV　□知人・家族の紹介　□SNS
□その他（　　）
今後、「のるーとのと」を利用したいと思いますか？（1つだけ選択）
□積極的に利用したい　□機会があれば利用したい
□あまり利用したくない　□利用したくない
（あまり利用したくない、利用したくないと回答された方）
「のるーとのと」を利用したくないと感じる理由を教えてください。（3つまで選択）
□自家用車で十分　□スマホ操作が難しい　□利用方法が分からない
□運賃が高い　□料金がわかりにくい　□事前予約が必要
□乗り場までの移動が大変　□他の人と乗り合わせることに抵抗がある
□乗車までの待ち時間が長い　□到着時間が読めない
□「のるーとのと」の別エリアへいけない
□その他（　　）
「のるーとのと」など公共交通への期待・要望があれば記入してください。

２．「のるーとのと」実証運行について

データ取得・分析の概要

○ ＡＩシステムから出力される乗車ログデータを整理
○ 取得項目：乗車日時・乗降地点・乗車距離・乗車時間・予約手段・利用者属性　等
○ ダッシュボードを活用し、リアルタイム可視化・集計・分析を実施
○ 本協議会や新たな交通モード導入に向けた研究会の場での結果を共有予定

(1)利用動態分析

- 時間帯別･曜日別･市町別
  乗車件数･乗車距離･乗車時間の集計

(2)需要分布分析

- 乗降地点のヒートマップ作成
- 需要集中エリアの把握

(3)予約手段分析

- アプリ予約 or 電話予約
- 件数比率･属性別傾向の分析

(4)配車効率分析

- 相乗り率･平均配車待ち時間
- 走行効率の評価

(5)時系列分析

- 実証運行期間を通じた
  利用者数･利用頻度の推移把握

(6)移動ニーズ分析

- 常設アンケートによる、満足度、ご意見のテキスト分析、その他の利用状況データとのクロス分析

資料３

３．新たな交通モード導入に向けた研究会の実施状況

３．新たな交通モード導入に向けた研究会の実施状況

概　要

○ 能登の各市町への**新たな交通モード（ＡＩオンデマンド交通や自動運転、ライドシェア等）の先進事例の共有等を目的**に「新たな交通モード導入に向けた研究会」を国とも連携し、開催

テーマ設定

・能登4市5町に要望テーマ照会

今年度のテーマ（要望が多かったもの）

① AIオンデマンド交通
② 自動運転
③ ライドシェア

開催（今年度は4回を予定）

① 令和8年　8月21日
② 令和8年10月28日
③ 令和9年　1月頃
④ 令和9年　3月頃

	日程・テーマ	講演内容・講師	
第1回	ＡＩオンデマンド交通	１．ＡＩオンデマンド交通の概要 ２．「のるーと津幡」について ３．デマンド交通の「トリセツ」作成に向けて	㈱日本海コンサルタント 津幡町 北陸信越運輸局
第2回	自動運転	１．自動運転の概要 ２．小松市の自動運転の取組について	北陸信越運輸局 小松市
第3回	ライドシェア	１．ライドシェアの概要 ２．県内のライドシェアの取組について	北陸信越運輸局 調整中
第4回	ＡＩオンデマンド交通	１．来年度の取組について ２．「のるーとのと」実証運行について	石川県・北陸信越運輸局 石川県

（参考）第1回研究会：県内全市町が参加



資料４

４．担い手確保に向けた取組

４．担い手確保に向けた取組について

概　要

○運輸業界（バス・タクシー・トラック）の運転手が不足する中、担い手確保を促進するため、国や業界団体と連携し、仕事の魅力発信（未経験者が多数活躍、自由度の高い勤務スタイル等）などの取り組みを実施

1　石川県運輸担い手確保協議会の設立(R8.5月)

国や業界団体と一体で**協議会を設立し、連携して担い手確保に取り組む**

→　参画団体：県、石川労働局、北陸信越運輸局、県バス協会、県タクシー協会、県トラック協会、いしかわ就職・定住総合サポートセンター（ILAC）

2　具体的な取組

（１）事業者の採用力強化のためのセミナーの開催

【R8実績】 9/4（金）@県庁　14事業者19名

新（２）運輸業界の仕事の魅力を伝える特設ホームページ・リーフレットの作成

10/8（木）～　ホームページ公開

10月中旬～　ハローワーク、ILAC等にリーフレット設置

新（３）ハローワークなど窓口職員向けセミナーの開催

【R8実績】 10/7（水）@県庁　29名

（４）合同企業説明会の開催（予定）

・金沢会場　10/22（木）@本多の森会議室
・小松会場　11/2　（月）@小松商工会議所
・能登会場　日程・場所を調整中


5/8　運輸担い手確保協議会


9/4　事業者向けセミナー


10/7　窓口職員向けセミナー



10/8～　特設ホームページ